

目 次

1. 会議 概要	1
(1) 会議の名称	1
(2) 開催期間	1
(3) テーマ	1
(4) 会場	1
(5) 後援	1
(6) 使用言語	1
(7) プログラム	2
● 参加都市 代表団	5
● 参加都市 位置図	8
2. 会議 内容	9
(1) 開会式	9
(2) 第1分科会議	31
(3) 第2-A分科会議	68
(4) 第2-B分科会議	106
(5) 全体会議	140
(6) 閉会式	157
3. 共同記者会見	159
4. 市内視察	166

5. 歓迎行事	167
(1) 市庁訪問	167
(2) お茶会	169
(3) 歓迎レセプション	170
(4) 送別レセプション	171
(5) 同伴者プログラム	172
(6) 文化行事参観	173
6. 会議関連行事	175
○ 都市紹介パネル展	175
7. 来賓名簿	176
8. 参加者名簿	177
9. 釜山宣言文	185

※ 新聞報道記事

1. 会議概要

(1) 会議の名称

- ▷ 第4回 アジア・太平洋都市サミット

(2) 開催期間

- ▷ 2000年 5月 13日 (土) ~ 15日 (月)

(3) テーマ

- ▷ 第1分科會：都市間の交流と貿易の振興
- ▷ 第2-A分科會：観光産業の育成案
- ▷ 第2-B分科會：観光産業の育成案

(4) 会場

- ▷ 釜山海雲台パラダイス・ホテル

(5) 後援

- ▷ 行政自治部
- ▷ 外交通商部

(6) 使用言語

- ▷ 4か国語 (韓国語, 英語, 日本語, 中国語)

(7) プログラム

2000年 5月13日 (土曜日)

16:30-17:00	○ 受付(パラダイスホテル2階 ボールルーム)
17:00-17:50	○ 開 會 式 (第 I 部) ・ 参加都市紹介：参加都市代表者の登壇及び簡単な挨拶 ・ 来賓紹介 ・ 主催者の挨拶 - 安相英釜山広域市長 ・ 釜山市民代表の挨拶 - 権寧迪釜山広域市議会議長 ・ 参加都市代表の挨拶 - ヴォ・ヴィエット・タン ホーチミン市長
17:50-18:00	○ コーヒーブレーク
18:00-18:30	○ 基調講演 (第 II 部) ・ 元 WTO事務次長 金喆壽 "グローバル化時代のアジア・太平洋都市間の協力増進：挑戦と機会"
18:30-18:40	○ コーヒーブレーク
18:40-19:10	○ 韓国伝統音楽公演 (第 III 部)
19:10-19:20	○ 記念写真撮影
19:40-21:00	○ 歓迎レセプション

□ 2000年 5月 14日 (日曜日)

09:00-11:35	<p>○ 分科会議</p> <p>《発表及び討議》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 第1分科<ul style="list-style-type: none">- 主題：都市間の交流と貿易の振興「2階 ボールルーム」- 参加 都市：オークランド、プリズベン、ホーチミン、イポー、ジャカルタ、釜山、佐賀・ 第2-A分科<ul style="list-style-type: none">- 主題：観光産業の育成方法「2階 カプリルーム」- 参加 都市：バンコク、広州、鹿児島、北九州、熊本、マニラ、宮崎、長崎、釜山広域市、上海、ウラジオストック(オブザーバー)・ 第2-B分科<ul style="list-style-type: none">- 主題：観光産業の育成案「2階 ボールルーム」- 参加 都市：大連、福岡、ホノルル、北九州、クアラ Lumpur、大分、ウルムチ
11:35-11:50	○ コーヒーブレイク：分科会議の結果の整理
11:50-12:00	○ 分科会議の結果発表
12:00-13:30	○ 昼食及び休憩
13:30-15:20	○ 全体会議：分科会議の結果報告及び討論 - "新しい千年のアジア・太平洋都市経済発展"
15:20-15:40	○ コーヒーブレイク：全体会議の結果の整理
15:40-15:50	○ 全体会議の結果発表
15:50-15:55	○ 共同宣言文採擇
15:55-16:10	○ 閉会式 <ul style="list-style-type: none">* 次回開催都市と議題の想定及び承認* 次回開催都市 山崎広太郎福岡市長の挨拶* 議長の閉会の挨拶
16:10-16:30	○ コーヒーブレイク
16:30-17:00	○ 共同記者会見
19:00-20:30	○ 送別レセプション

□ 2000年 5月 15日 (月曜日)

09:30-10:30	○ 市庁訪問
11:00-17:00	○ 市内視察 ● A・G メイン競技場 ● BUEXCO 建設現場
17:30-18:30	○ 文化行事参観 ● 釜山広域市 市立舞踊団 "新しい千年の音" ● 金英姪 "民謡連曲" ● ナムサン・ノリマダン "サムルノリ"
19:00-21:30	○ 晚餐：王相殷 釜山広域市姉妹都市委員長主催

2. 会議 内容

(1) 開会式

--- 第 1 部 ---

～～ 司 会 ～～～

お集まり頂いた皆様に感謝申し上げます。ただ今より、第4回アジア・太平洋都市サミット開会式を開催いたします。



～～ 司 会 ～～～

それでは、第4回アジア・太平洋都市サミットに参加の12ヶ国23都市の特徴と本日お越しいただいた代表者の皆様を紹介させていただきます。まず、その都市の特徴を説明し、その後、今日参加された都市代表皆さまのご氏名とお役職を紹介いたします。都市代表者の方々には、ご自身の都市紹介がありましたらステージに登壇していただき、お国の言葉で「釜山の皆様こんにちは」とメッセージを送って頂きたいと思います。

まず、ニュージーランドのオークランド市をご紹介します。オークランド市は、ニュージーランドの北部にある都市です。南太平洋に位置しているため、気候が温暖で快適な気温であると同時に、降水量が多く日照時間が長いのがこの都市の特徴です。1840年、ヨーロッパからの移民が始まり、現在はニュージーランドで一番大きい都市となりました。ヨーロッパ系をはじめマウリ族、オセアニア人そしてアジア人が共に暮し、国際色豊かなニュージーランド経済の中心地です。今日、この開会式には、オークランド市を代表してクリスティン・プレッチャー市長が参加して下さいました。皆様、拍手でお迎え下さい。

□ オークランド市長 クリスティン・フレチャー

釜山の皆様にニュージーランド語で「キオラ」とご挨拶申し上げます。我民族を代表してここに参ったことを光栄に存じます。

～～ 司会 ～～～

次は、バンコク市をご紹介します。皆様もご存じの通り、バンコクはメナン川の三角地帯に位置し、人口は800万人です。気候は、一年を通じて高温多湿で季節は三つに分かれています。気温が25℃以下に下がる事は殆んどありません。バンコクはタイの首都でタイ経済の中心地であり金融とサービス業が集中した都市です。メナン川とバードン・クルン・カセン文化に取り囲まれたバンコクには、王宮と数多くの仏教寺院があります。バンコク市を代表してナサノン・サビシン行政調整室副室長が参加して下さいました。拍手でお迎え下さい。

○ バンコク市行政調整室副室長 ナサノン・サビシン

～～ タイ語で挨拶

～～ 司会 ～～～

バンコク市の次はブリスベン市です。ブリスベン市は、環太平洋の西端に位置し、オーストラリアのサンシャイン・ステートと言われているクィーンズランドの州庁所在地です。オーストラリアで一番暮しやすい街であり、安全かつ美しく、特に緑が豊かなことで有名です。人口は84万人で亜熱帯気候に属しています。オーストラリアのブリスベン市を代表してティム・クイン副市長が参加して下さいました。

○ ブリスベン副市長 ティム・クイン

釜山の皆様にブリスベン市民を代表してご挨拶申し上げます。お招き頂きありがとうございます。

～～ 司会 ～～～

次は、中国の大連市です。大連市は、遼東半島の南端、そして渤海湾の入口に位置し、北京と天津の関門で、北東アジア経済地域の中心都市です。中国有数の港湾工業都市と言えます。地形は、北側が高く南が低く、山が60%、川が10%、そして平地が30%です。226の島と30以上の港湾を持つ人口540万の都市です。気候は、大陸性モンスーン気候と海洋性気候の特性をともに持ち合わせたような気候です。温暖な気候で、釜山のように四季がはっきりとしているそうです。本日、大連市を代表して李永金副市長が参加して下さいました。

○ 大連副市長 李永金

大連は、中国の北部に位置した、中国で一番美しい都市です。新しい世紀を迎えて、釜山の皆様とアジア・太平洋地域からいらした皆様に、大連市民からのご挨拶をお伝えします。

～～ 司 会 ～～～

本日この開会式に参加された12ヶ国23都市を皆様を紹介しながら各々の都市の代表者の方々も一緒に紹介しています。次は、釜山と一番近いところに位置している福岡市をご紹介します。福岡市は、日本の西南部の九州北部に位置し、年平均気温は18℃、人口は132万人です。福岡市は、日本列島の中でも韓半島と中国大陆に近いという地理的な利点があり、2000年前から貿易港として国際交流を続けてきました。

無形民俗文化財の博多どんたく、750年余りの伝統を持つ博多祇園山笠祭りが自慢の街です。そして、今年7月には九州沖縄サミットが福岡で開催される予定です。福岡市を代表して山崎広太郎市長が参加して下さいました。

○ 福岡市長 山崎広太郎

皆さんこんにちは。福岡市から参りました。このアジア・太平洋都市サミットを通じまして、アジア・太平洋の都市の皆様と色々な問題について話し合う機会を持てたことに大きな期待を掛けております。どうぞよろしくお願い致します。

～～ 司 会 ～～～

次は、広州市を紹介します。広州は、広東省の首都です。政治・経済・科学・教育・文化の中心都市で地理的に珠江の三角洲の北側、東江、西江、北江の合流点に位置しています。気候は、亜熱帯季節風に属し、降雨量が多いので一年を通じて花と緑に囲まれています。それで、花成とも呼ばれています。広州は、華南地方最大の国際貿易港で、人口は674万人です。広州市を代表して王守初副市長が参加して下さいました。拍手でお迎えください。

○ 広州副市長 王守初

ありがとうございます。私は、市長の代わりに、そして、広州市の全ての市民を代表して釜山の皆様にご挨拶申し上げます。そして、ここにいらっしゃる代表団の皆様にもご挨拶申し上げます。大会が円滑に進められる事を祈願致します。ありがとうございます。

～～ 司 会 ～～～

次は、ホーチミン市です。ホーチミン市は、以前サイゴンと呼ばれた街で、多くの方になじみのある都市の一つではないかと思えます。ベトナムのサイゴン川と東ナイ川の下流に位置し、ベトナム最大の農業産出量を誇るメコン川三角洲が近くにあります。人口は600万人で、気候は乾期と雨期だけの熱帯モンスーン気候です。年平均気温は27.5℃です。今日、ホーチミン市を代表して ヴォ・ヴィエット・タン市長が参加して下さいました。

次の都市をご紹介します。今回は、マレーシアの首都であるクアラルンプール市です。マレーシア半島の西海岸の中心部に位置しています。1850年代に錫の鉱脈を探し当てるために多くの人々が集まって都市となり、150年ほどで活気に満ち現代的な魅力を持つ都市に成長しました。人口は約150万人、熱帯海洋性気候で年平均気温が23℃～33℃です。クアラルンプール市からはジャイナル・アビディン・モドザイン文化社会福祉部副課長が参加して下さいました。拍手でお迎え下さい。

○ クアラルンプール文化社会福祉部副課長 モドザイン

～～ マレーシア語で挨拶

～～ 司会 ～～～

次は、熊本市をご紹介します。熊本市は、人口が約66万人で、東には世界最大のカルデラ火山である阿蘇山、西には有明海を見渡す熊本平野の中心部に位置しています。また、市内中心部には400年の歴史を誇る熊本城が観光地として広く知られています。お祭りは、8月の火の国祭りが有名です。今日、熊本市を代表して三角保之市長が参加して下さいました。

○ 熊本市長 三角保之

大変素晴らしい計画をして下さった釜山市の皆様方、こんにちは。昨年この会議が開かれました日本の福岡市から100km南に位置した、火の国熊本でございます。体も心も燃えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

～～ 司会 ～～～

次は、マニラ市をご紹介します。マニラ市は、フィリピンの首都でパシグ川の河口のマニラ湾の東海岸に位置した美しい都市です。住民は、マレー系が殆んどですが、伝統と慣習等には、マレーシアのみでなく、スペイン、中国、イスラムの影響が多く残っています。マニラ市は、貿易の中心地でもあり、フィリピン海運の中心地で、数多くの島に移動出来る交通の要地です。気候は、12月から4月までが乾期で、5月から11月までは雨の多い雨期です。マニラ市を代表してエティ・エンマニエル・シソン市長秘書室長が参加して下さいました。ようこそ。

○ マニラ市長秘書室長 シソン

～～ タガログ語で挨拶

～～ 司 会 ～～～

次は、宮崎市です。宮崎市は、日本九州東南部に位置した人口約30万6000人の都市です。宮崎は、自然に恵まれ景観が美しく、特にオーシャンドームのようなリゾート、コンベンション施設は、毎年多くの観光客とビジネス客を誘致しています。そして今年7月には九州沖縄サミットの外相会談がここ宮崎で開催される予定だと言います。観光地としては、シーガイア、青島リゾート、お祭りは宮崎故郷祭りが有名です。今日、宮崎市を代表して津村重光市長が参加されました。拍手でお迎え下さい。

○ 宮崎市長 津村重光

ご紹介にあずかりました宮崎市長の津村でございます。釜山市民の皆様への暖かいご歓迎に心から感謝申し上げます。今ご紹介いただきましたように、宮崎市は人口30万人という決して大きくない都市であります。7月にG8サミットの外相会談が行われます。国内のみならず国際的にもリゾート都市、コンベンション・シティになろうと一生懸命努力しております。どうぞよろしくお願い致します。

～～ 司 会 ～～～

次は、長崎市です。長崎市は、日本本州の西端に位置しています。1571年海外貿易港として開港し、日本の鎖国政策にも拘らず唯一海外に開かれた港として知られて来ました。年平均気温は17.3℃、人口は43万人です。観光地としてはグラバー邸、大浦天主堂が有名です。今日、長崎市からは内田進博副市長が参加して下さいました。

○ 長崎市副市長 内田進博

釜山市民の皆様こんにちは。日頃から釜山市民の皆様とは長崎市が色々な形でお付き合いをいただき、この席をお借りしまして御礼申し上げます。ただ今、司会の方からご紹介いただきましたが、長崎市は、歴史とロマンの街、そして、世界の平和を願い、祈る市民の街でございます。

どうぞよろしくお願い致します。

～～ 司 会 ～～～

今度は大分市です。大分市は、九州地方の中核都市と言えます。海と山と川の豊かな自然が調和した中、多彩な産業が発展した商工業の街です。人口は44万人で年平均気温が16℃と、大変

穏やかな気候の街です。観光地としては、高崎山自然動物園が有名です。大分市を代表して護雅行副市長が参加して下さいました。

○ 大分市副市長 護雅行

釜山市民の皆様こんばんは。今回アジア・太平洋の諸都市の方々と共通の課題をもって議論をする機会を得たこと、大変喜ばしくまた光栄に存じております。そして、このような立派な会議を準備して下さった釜山の皆様のご苦勞とまた暖かい歓迎ぶりに心から感謝を申し上げます。大変ありがとうございました。カムサハムニダ。

～～ 司 会 ～～～

次は、佐賀市をご紹介します。佐賀市は、日本列島南西部の佐賀平野の中心に位置している佐賀県の県庁所在地です。北には太古の歴史を誇る金立山が位置し、南には干満の差で有名な有明海があります。自然に恵まれた古い歴史を持つ都市です。人口は16万6000人で、国際行事としては、今年20回目を迎えるインターナショナル・バルーンフェスタ、すなわち国際風船フェスティバルが開催される都市として有名です。今日、佐賀市からは木下敏之市長が参加して下さいました。

○ 佐賀市 木下敏之市長

釜山市民の皆様こんばんは。ただ今ご紹介いただきました佐賀の市長、木下敏之でございます。心暖まる歓迎、心から感謝申し上げます。佐賀市は、釜山広域市のヨンジェ区と姉妹都市ですが、この素晴らしい会議を機会に、釜山市民全体、また、参加された各都市の皆様と深い友好を築き上げていきたいと存じます。よろしくお願い致します。

～～ 司 会 ～～～

次は上海市です。上海市は中国東部海岸線の間中に位置しています。揚子江が海に入る河口に位置し、中国中央政府の直轄市です。上海市は700年の長い歴史を持つ都市です。中国最大の経済都市であり釜山と同じ港湾都市で中国経済の中心都市です。人口は約1474万人、気候は釜山のように四季がはっきりしています。今日上海市を代表して殷一瑾副秘書長が参加しました。

○ 上海市副秘書長 殷一瑾

皆様こんにちは。釜山市と上海市は姉妹都市です。私は、シュクアンディ市長の代わりに、

また、上海市民を代表して釜山市民の皆様にご挨拶申し上げます。また、このサミット開催をお慶び申し上げます。そして釜山市の皆様への歓迎に感謝申し上げます。

～～ 司会 ～～～

次は、ウルムチ市です。ウルムチ市は、中華人民共和国の新疆省ウイグル自治区の首都です。西暦648年、古代シルクロードの新北路上の交通の要衝地でした。都市の総面積は2000km²で、47の民族、人口158万人が住んでいる自然資源の豊かな街です。ウルムチ市からはノル・バイクリ市長が参加して下さいました。

○ ウルムチ市長 Nur Bakry

ここ釜山での第4回アジア・太平洋都市サミットに参加でき、うれしく思います。158万のウルムチ市民を代表して釜山市民と安相英市長、サミットにご参加の皆様にご挨拶申し上げますと共に、会議の開催をお慶び申し上げます。ありがとうございます。

～～ 司会 ～～～

次は、ウラジオストック市です。ウラジオストック市は、沿海州の州都でロシア東海岸の一番大きな港です。そして、ロシア遠東地域の経済的中心地です。主な産業は船舶の修理と木材、建設、化学、エネルギー生産、食品産業等で、人口は850万人です。沿海州人口の30%を占め、気候はモンスーン気候です。1992年以降、アジア・太平洋地域でのウラジオストックの政治的役割は日に日に重要度を増し、地理的、地政学的位置のため、文化、貿易、観光の中心地になりつつあります。ウラジオストック市からは、ウラジミール・サプリキン副市長が参加して下さいました。

○ ウラジオストック市副市長 ウラジミール・サプリキン

～～ ロシア語で挨拶

～～ 司会 ～～～

最後に釜山広域市です。釜山広域市は、韓半島の南東に位置し、大陸と海洋をつなぐ関門であると同時に地政学的に重要な意味を持つ韓国第1の国際港湾都市です。韓国の南東部経済圏で商業、貿易、金融、情報等様々な分野で中核の機能を担っている中枢都市です。釜山には約5万年前の旧石器時代から人が住んでいたと言われていました。三韓時代には、海を越えて世界の国々と往来があった交通の要衝地でした。人口は約384万人です。四季の区別がはっきりとした温暖な海洋性気候の街です。釜山広域市からは、安相英市長が参加して下さいました。



主催者代表挨拶

～～ 司 会 ～～～

続きまして、本日の第4回アジア・太平洋都市サミットを主催した釜山市を代表し安相英釜山広域市長より歓迎のご挨拶を頂戴したいと存じます。

□ 釜山市長 安相英

アジア・太平洋都市サミットに参加された都市代表の皆様、そして外交使節団とご来賓の皆様。

新しい千年の幕を開ける21世紀初の第4回アジア・太平洋都市サミットが、韓国第一の港町、釜山で開催されることを大変意義深く思います。この会議に参加するため遠くからいらした代表者の皆様、心から歓迎致します。また、本日お越しいただいた外交使節の方々にご来賓の皆様に感謝申し上げます。

ご存じの通り、アジア・太平洋都市サミットは、アジア・太平洋地域の会員都市指導者の相互交流と協力を通じ共同繁栄と発展を図るために創設された国際機関です。1994年、日本の福岡で発足されたこの機関は、会員都市間の友好と協力増進のためたゆまず努力を積み重ねてきました。

今日の世界は、過去には想像もできなかった変化を繰り返しています。特に、過去10年間は人類の歴史においてたぐいのないほど急激な変化がありました。まず、1990年代に入り冷戦が終焉し、世界が一つになりました。また、情報通信が急速に発達し、世界が一日生活圈となり地球村と呼ばれるようになりました。

従来の国境の概念は既に変化しました。そして地方分権化が進み各々の地方の独自の個性のある発展が国家発展の原動力となり、牽引の役割を担う時代に入りつつあります。

このような変革の波はもはや避けられない一つの挑戦となりつつあります。この挑戦に積極的に対応出来なければ、後退や停滞だけでなく、生存すらも脅威にさらされる時代になったと言えます。従って、このような変化を受入れるか否かの選択ではなく、ただ、積極的に活用するのが当面の課題となったのだと思います。

国家間や都市間の相互依存の領域は、さらに拡大し深まっていくと思われます。従いまして、従来の国家単位の考え方から脱し、国家間、または、都市間の交流と協力がお互いの利益につながるという認識の転換が要求されています。

12ヶ国の国益に寄与し、ひいては23の都市間の相互交流と協力を通じ、アジア・太平洋地域の共同繁栄と世界平和に大きく貢献することと固く信じております。

今まで、国家中心の協力体制については、様々な形で論議されてきましたが、これまであまり取扱われなかった都市間の役割と共同繁栄に対する視点も今回の第4回アジア・太平洋都市サミットを機に大きく変わらなければならないと思います。また、アジア・太平洋地域の都市が太平洋を挟んで如何に相互協力すれば激変する21世紀に対処出来るのかという課題と観光産業育成案についても活発な討論があることと期待しております。特に、2002年ワールドカップとアジア大会を控えた釜山市は、今回の行事が釜山市を世界に知らせる機会になると期待しています。何とぞ本日のこの行事が、グローバル化時代におけるアジア・太平洋都市の成長と発展の正しい方向を示し、協力と共同繁栄の契機となることを願います。そして、立派な発表と活発な討議の中で相互に学び寄与する交流の場となることを期待します。

もう一度アジア・太平洋地域都市間の新しい協力と発展のために参加して下さった皆様に心より歓迎と感謝の意を表しつつご挨拶の言葉とさせていただきます。

～～ 司 会 ～～～

釜山広域市議会のクォン・ヨンジョク議長の祝辞でした。

本日は、23の都市から多くのご来賓の方が参加して下さいました。ご来賓の皆様にもう一度歓迎の拍手をお願いいたします。



～～ 司 会 ～～～

この拍手に応えるため、参加都市代表としてホーチミン市のヴォ・ヴィエット・タン市長からご挨拶を頂戴したいと存じます。皆様、拍手でお迎え下さい。

□ ホーチミン市長 ヴォ・ヴィエット・タン

尊敬する安相英釜山市長、ご来賓の皆様、各都市を代表する代表団の皆様、そして、ご列席の皆様。

第4回アジア・太平洋都市サミットに参加した事を大変うれしく思います。また、このように答辞を述べる機会を与えられてまして光栄に存じます。私どもを暖かく迎えて下さりありがとうございます。12ヶ国の23名の市長と代表団を代表し、釜山市長と釜山市に感謝申し上げます。

また、今回の会議を準備して下さった組織委員会の皆さまにも感謝申し上げます。会議を立派に準備して下さいましてありがとうございます。

美しい釜山市に集まって共通の関心事について意見を交わす機会を与えて下さりありがとうございます。意見交換を通じて、都市間の協力と友好関係を深めることが出来ると思います。多くの市長の方々が参加されたことから、参加都市が如何にこのテーマに関心を持っているか、また、我々が責任を担っている都市の発展と繁栄のためすべきことが山ほどあるということを感じました。

参加都市は、その規模や地政学的な条件、発展段階が全て違います。しかし、同じ問題と困難に直面しています。つまり、急激な都市化により生じる問題、貧富の差、住宅環境の劣悪化などの問題を抱えています。今回都市会議が開催されたのは、大変勇気づけられます。この地域の都市代表が一堂に会したこの会議で、お互い意見を交換し持続可能な発展を達成するためには、活発な討議が必要です。

今までの3回に亘る会議は非常な成果を収めました。この地域の都市間の相互理解の増進に寄与し、様々な方面で都市間の新しい提携と協力関係を築いてきました。また、実務会議を通じて会議を引っ張っていく意思を高め、緊急の都市問題を解決するための討議が出来ました。実際、このような至急の問題は、一つの都市、一つの国では解決出来ない問題です。

今日と明日の二日間、「新しい千年のアジア・太平洋都市の経済発展」というテーマの下でフォーラムと分科会議を開催しますが、これを通じて貿易と観光の育成案について意見を交換することになるでしょう。貿易と観光は、一国の経済成長に大きく寄与します。同時に国家間・都市間の協力関係、友好関係を増進させます。私は、同僚の市長の皆様方と一緒に、具体的な分野について十分な討議をする機会が与えられる事を期待しています。

このような強い責任意識を持って、我々は、都市の開発と繁栄のため多くの事を学ぶためにここに集まりました。積極的に参加し、多くの事を学び、各々貴重なものを得られることを期待しております。

最後に、もう一度安相英市長と組織委員会の皆様に感謝申し上げます。アジア・太平洋地域にある都市が共に繁栄し成長することを期待しながら、実り多い会議になることを願ってやみません。ありがとうございます。

～～～ 司 会 ～～～

今日参加して下さった23都市を代表してヴォ・ヴィエツト・タン市長よりご挨拶を頂戴しました。それでは、ここで市長の皆様がご降壇されます。皆様、盛大な拍手をお願いいたします。

(拍 手)

り、個人、企業、市民、社会団体は勿論、地方自治体が直接国際社会の重要な活動主体として浮上しています。私は、このような今日の変化を予見しこの会議を提唱された皆様のビジョンに敬意を表し、新しい世紀を出発させる時期に開催されるこの釜山会議が成功することを期待します。

特に釜山は、韓国経済発展の産室であると同時に韓国のアジア・太平洋への関門でもあります。この会議のテーマでもあるアジア・太平洋の都市経済発展を如何に追求していくかという問題は、釜山の歩んできた道や釜山の今後歩むべき道から示唆するところが大きいと思います。

振り返ってみれば、戦後50年の内、前半が、アメリカを中心とした大西洋沿岸が世界を支配した時期だと言うのなら、後半は、アジア・太平洋地域特有の多様性とダイナミズムが世界経済成長をリードした時期だと言えます。アジアは、「アジアの奇跡」という言葉が代弁するように、十数年間大きな経済成長を遂げてきました。

10年前には世界GDPの1/6を占めていたアジアは、今や世界GDPの1/3を占めるようになりました。このように早い成長を成し遂げた原動力は、活発な貿易でした。過去10年間アジアの輸出は、成長率は毎年二桁、金額は約1兆5000億ドルに達し、今や世界輸出の1/3を占めるようになりました。このようなアジアの経済発展は、この地域特有の勤勉性と教育熱、高い貯蓄率、そして、対外指向の経済施策がベースとなったものです。

アジアの経済は、過去2、3年間通貨危機を経験し、一部ではアジアの奇跡が終わったのではないかという見方もありました。しかし、危機を切り抜けた多くの国々が強い意志を持って経済改革を推進した結果、昨年からは本格的な回復期に入り、アジアは再び過去の急速な成長パターンに戻れるという希望と可能性を抱きながら21Cを迎えています。

アジアは、このように世界で一番早い成長率を記録しましたが、まだ多くの経済的・社会的課題を抱えています。このような課題を一々言及するのは容易な事ではありませんが、域内の開発途上国での都市発展と関連し幾つか述べさせていただきます。まず、急激な経済成長に比べ相対的に投資が低迷でインフラの副作用現象が深刻な状況であります。世界銀行によると、今後10年間、電力、通信、道路、港湾等のインフラ開発のため、13兆から15兆ドルの投資が必要だという予測がありました。

環境保護レベルでもこの地域は、多くの課題を抱えています。アジアは、世界で一番高い森林伐採率とGDP単位当り一番高い二酸化炭素排出量を記録しています。また、この地域では、約4億5000万人がまだ貧困から脱していません。このような課題を解決するために、何よりもアジア経済が新しい世紀にも持続的な経済発展を成し遂げて行かなければなりません。

世界は、今、理念を掲げた冷戦体制を終え、新しい国際秩序を模索しています。国際化、グローバル化等で言い表されている相互依存の新しい秩序が形成されています。経済的側面での

グローバル化は、50年間貿易と投資の世界的なレベルでの自由化と情報技術の発達によって促進されています。1950年には、世界総生産の7%が輸出されていましたが、今や25%以上が輸出されているという統計一つを見ても、国家相互依存が如何に進展しているかが分ります。

一部では、このようなグローバル化現象が国家間の競争を一層激しくさせ、貧富の差をより拡大し、環境と労働基準を破壊するという非難の声もあがっていて、これは、反グローバル化運動として現れています。最近シアトルで開かれた世界貿易機関閣僚会議とワシントンで開かれた世界通貨基金、世界銀行の総会でも大規模のデモが行われました。

しかし、一つだけ確かに言える事は、過去50年間のグローバル化は、人類の繁栄と平和に大きく寄与したという事実です。世界経済は、過去のいかなる時代より高い成長率を記録し、これによって途上国は貧困問題をある程度解決し世界経済における地位や比重が向上しました。国連のアナン事務総長が「今日の極めて不平等な世界においては、敗者は、グローバル化の影響を受けすぎた人々ではなく、その現象の外にいる人である」と言ったのは、グローバル化の意味を適切に表現したものとと言えます。

グローバル化は、都市のような地域共同体に新しいレベルの役割を与えています。グローバル化によって国家の役割は相対的に減少し、個人や企業が直接海外のパートナーと交流、競争、協力するという事が一つの流れになっています。このような交流を促進する手段として、地方対地方、都市対都市、つまり、ローカル対ローカルレベルの交流の重要性が増しているからです。地方自治体は、個人や企業が置かれた状況と彼らのニーズを一番近くで正確に把握出来るため、個人や企業の国際的な活動を一番効果的に支援出来るからです。私は、このような理由で、アジア・太平洋都市サミットが発足し、発展してきた事を大変意義深いものと評価し、このような変化は、これからもこの会議の進むべき方向を示すものと信じています。

1970年から1990年まで世界の都市人口が14億人から23億人に増加し、都市化現象はあらゆる地域で早く進行しています。しかし、我々は、このような都市人口増加の60%がアジアで起きているという事に注目すべきであると思います。今、アジアの都市には約10億人が生活しています。20年後には約20億人と2倍以上に増え、アジア人口の約半分が都市に生活することになると予想されます。

アジア地域の抱えている経済的・社会的課題について簡単に申し上げましたが、アジア地域、特に途上国においての都市化現象は、経済発展が進む過程で、インフラやサービスの不足、住宅難、都市貧困層の拡大、環境破壊等多くの副作用をもたらすことと思います。このような問題を如何に克服し、市民生活の質を向上させるかが都市行政の中核となる課題であり、持続可能な経済発展がその解決の要になると思います。

しかし、このような複雑な問題を解決するには、既存の方法と資源では限界があるというの

が事実です。各々の都市は特徴を活かし、インフラ構築とサービスの提供において民間企業の参加を拡大させる方法を模索する一方、中央政府との役割を再定立しなければなりません。また、人的資源の開発と訓練を通じて都市の機構と制度を強化し、都市が提供するサービスに対し適切な価格体系を確立し、費用の回収及び資源活用能力を向上させる努力も必要です。

このような解決策を講じるにおいて、多様な発展段階と経験を持つアジア・太平洋都市が経験を互いに共有するのは意義深いことだと思います。アジア・太平洋都市サミットでは、これまで様々な問題を討議し多くの成果を上げてきました。今までは、交通、住宅、環境、都市計画、教育、上水道や下水道問題などが分科会の議題に採択され、お互いの中で情報及び意見交換がなされ、最適事例が発表されました。このような形の協力も役に立つことは事実ですが、都市サミットが開催される短い間、儀礼的な行事と重なってしまうため十分な討議が出来ず、合間合間になされる程度でその効果が期待にこたえるものとならなかったともいえるでしょう。

これを改善するため、私は二つの提案をしようと思います。まず、会員都市は各々のインターネット・ウェブサイト、アジア・太平洋都市情報ネットワークを開設し、会員都市間の共通の問題点と協力課題についての十分な情報交換と意見交換が行われるよう態勢づくりをする必要があると思います。

次に、会員都市の当面の課題の解決と発展方向に関する協力問題を論議するためのフォーラムを開設し、各都市の希望に応じて議題別に議長都市を選定します。連続性を持たせるため、前年及び次の年の議長都市と一緒に年間1、2回運営されるという形を取り、会議の結果をアジア・太平洋都市サミットに報告するといった形を整えるのが望ましいと思います。また、アジア・太平洋都市情報ネットワークのサイトの内容と議題別フォーラムの構成問題を具体化させるための実務者会議の開催も必要だと思います。

では、今回、第4回会議の分科会議題である「都市間の交流と貿易の振興」、そして、「観光産業の育成案」についてお話申し上げます。

世界の貿易は、アジアの金融危機、1次商品の価格下落等で過去2年間増加率が大きく鈍化し3~4%の増加に留まりました。これは、1950年から1990年代半ばまでの世界貿易の年平均増加率6%を遥かに下回るレベルです。2000年には、アジア国家の経済回復と世界経済の全般的な成長の兆しにより、世界貿易は再び6~7%の増加へと回復することと予想され、このような世界貿易の増加においてアジア地域の貢献度が再び高くなると思われま

す。また、開放化、グローバル化が進むにつれ、アジア・太平洋地域への海外投資が増えると思われま

す。これをさらに促進させるため、アジア国家は、貿易と投資の自由化のための努力を国家、地域の多角レベルで一層強力で推進することとなるでしょう。

アジアの国々は、負債の償還と開発のための資金を確保するため、より積極的に外国資本の

投資を誘致し、自発的な貿易及び投資自由化を推進すると期待しています。地域レベルでは、ASEANの国々が自由貿易地帯を通じて貿易自由化をリードし、中長期的なレベルではAPECが域内先進国は2010年、域内途上国は2020年までと時限を設定し、貿易及び投資自由化の目標を達成するため段階的な自由化計画を実践に移しています。

また、最近では、今まで地域主義に参加しなかった域内国家が自由貿易協定締結を通じた貿易自由化を追求しています。その代表的な例が日本とシンガポール、韓国、チリ、オーストラリア、ニュージーランドとASEANの自由貿易地帯協定の推進です。多角レベルでアジア国家は、ウルグアイラウンドを通じてのみでなく、WTO設立以後にも情報通信技術協定、基本通信協定、金融サービス協定等、分野別協定を通じてかなりの自由化を約束しており、今これの一つずつ施行している段階です。

そして、中国やいくつかのアジア国家は、WTO加盟の過程で相当なレベルの市場開放措置を取ることになると思います。今年から始まると予想された新しい多角貿易交渉は、シアトルでのWTO閣僚会議の失敗でとりあえずは霧散になりましたが、WTO会員国は遅くとも来年中には今までの交渉の議題に対する意見の違いを狭め、新しい多角交渉を発足させると予想されます。

このように、アジア・太平洋地域には、新しい世紀にも、過去と同じように活気に満ちた貿易と投資活動が続けられると予想されます。しかし、今までの貿易投資分野での協力は主に中央政府レベルで行われ、都市間協力は他の分野に比べ大きな潜在力を持つにも拘らず微々たるものでしかなかったと思います。従いまして、これからは、域内の都市がより活発にこの分野の協力を強化し、特に実務的な貿易と投資の機会を提供する事業を中心に具体的な協力を推進して行くべきだと思います。

昨年、韓国の金大中大統領の提案で第1次APEC投資博覧会を開催し、その成功をベースにAPECのリーダーは、第2次投資博覧会を来年中国の煙台で開催することにしました。このような経験を考慮にいと、アジア・太平洋都市サミットの会員都市が域内で貿易投資博覧会を開催しお互いの貿易と投資の機会を提供し、第3国のバイヤーと潜在投資家を積極的に誘致すれば、大きな成果を得られると思います。この博覧会は、希望によって会員都市が順番で開催することとしますが、釜山広域市が推進中の大規模展示コンベンションセンターが来年には竣工される予定ですので第1次アジア・太平洋貿易投資博覧会は、釜山で開催も出来ると思います。

観光分野においても、会員都市間の協力の可能性は大変大きいものと思います。世界観光機関が暫定的に集計した統計によると、アジア・太平洋地域は、昨年1年の間、97年と98年の低迷を乗り越え9400万人の観光客を誘致し、増加率は対前年比7.5%で世界の他の地域よりも高いのです。

この地域は、古い歴史と文化、そして美しい自然景観等、立派な観光資源を保有しているのみならず、経済発展による所得の増大によって観光人口が急激に増加すると予想され、2005年には約1億5500万人の観光客を迎えるだろうという見通しがあります。観光は、アジア・太平洋地域で一番成長のスピードが早い産業の一つでもあります。従いまして、経済発展という面でも重要なだけでなく、相互理解と協力を促進するのに寄与出来るという点で域内協力の当為性が一番確実な分野と思われまます。

APECが1991年の観光実務グループを発足させ、域内観光問題を討議し、第1次APEC観光長官会議を今年7月韓国で開催するのは、観光分野において協力の必要性があるという共通の認識が形成されたからです。このような中央政府レベルの協力を通じて域内観光政策レベルでの問題は解決されましたが、実質的な効果を得るためには地方や民間レベルで協力を多角化していく必要があると思います。

既に、一部のアジア・太平洋地域の都市は、姉妹都市となりともに手を取り合う観光協力を推進したり、多数の地方政府で構成されている地域協議体を通じた多角協力が部分的に行われていますが、地方レベルで体系的でかつ組織的な観光協力はまだ行われていないと思います。アジア・太平洋都市サミットの会員都市の豊かな観光資源を生かそうと思えば、この会議の枠組みの中で観光協力チャンネルを多様に構築し、各都市間で実践的な協力事業を発掘するのが相互利益を最大化させる方法になると言えます。

都市間の観光協力の例として、会員都市間の連携観光プログラムを開発し、会員都市の独特な文化的・歴史的違いを感じられるよう一つの観光商品にして、開発・普及させれば、これは観光需要の開発のみならず会員都市間の相互理解の幅を広め、協力の基盤を作る重要な契機にもなるでしょう。

また、会員都市の間での観光需要を考えにいて、直航便の新設及び増便に向けた協力を推進することも出来るでしょう。さらに先ほど申し上げましたアジア・太平洋投資貿易博覧会のような域内の会員都市が参加する観光博覧会を開催することも出来るでしょう。このような具体的な協力課題を導き出すため、都市サミットの中に観光フォーラムを設置し、持続的に観光情報、経験、技術等を交換し、この分野で共同プログラムと投資機会を模索していけば実質的な成果を得られると思います。

私達が迎える新しい世紀は、デジタル化、知識基盤社会の進展等でグローバル化現象が一層促進されることと思います。個人、企業、国家間での競争と協力がより激しい時代になると思います。私たちの生活の場である都市が、市民に一層魅力的で質の高いライフスタイルを提供するためには、お互い競争すべき時には競争し協力すべき時には協力しなければならない時代が来ると思います。

アジア・太平洋都市サミットは、3回の会議を経る間、会員都市間での協力を強化するのに大きく寄与しました。「考え方は世界的に、行いは地方的に」というモットーを立派に実践してきたと思います。釜山で開催される今回の会議も会員都市間の友好と理解の増進、交流の促進、そして、共同繁栄のため多くの協力事業が掘り起こされると期待し、もう一度本会議の成功を願ってやまない次第でございます。ご静聴ありがとうございました。

～～ 司 会 ～～～

基調演説を下された金喆壽様にもう一度盛大な拍手をお願いいたします。ありがとうございます。

--- 第 3 部 ---



国楽公演

～～ 司 会 ～～～

では、開会式の祝賀公演を始めたいと思います。まずは、釜山市立国楽管絃楽団の皆様です。引き続きまして釜山民俗芸術保全協会の会員の皆さまの公演がございます。

寿斉天、管楽靈山会相の内、打令と軍楽をお届けしますが、これについて簡単にご説明申し上げたいと思います。

寿斉天は7世紀の半ば以前から広く歌われてきました。百濟時代の井邑詞に由来するものがあります。この歌は、井邑県に住んでいる行商の妻が、行商に行って帰って来ない夫の帰りを待ちこがれ山へ上って歌った歌です。10世紀からは宮廷で踊りながら歌われ、14世紀からは王や王子の御幸の時にも演奏されたと伝えられています。現在は歌の歌詞が省かれ器楽合奏曲として演奏されています。編成楽器は小琴、大琴、笛、奚琴、牙箏、杖鼓、座鼓、拍(拍子木)などです。今日は、寿斉天と管楽靈山会相の内、打令と軍楽を一緒にお届けしたいと思います。盛大な拍手をお願いします。

***** 公 演 *****

～～ 司 会 ～～～

素敵なお公演を下された出演者の皆様に拍手をお願いします。これで、第3部、公演を終わらせていただきます。

これをもちまして、第4回アジア・太平洋都市サミット開会式を終了いたします。ありがとうございます。